

事故体験事例集



公益社団法人 香川県シルバー人材センター連合会

事故体験事例集の発行にあたって

高齢化社会の中で、「働きがい」「生きがい」をもって高齢者の方々に就業の場を提供するシルバー人材センターのはたす役割は、高まっています。

しかし、多くの会員が就業することによって、事故も発生しています。平成26年度全シ協の統計年報によると、実事故発生件数が63件であり、このうち重篤事故は1件で、就業途上で発生しています。香川県の場合、重篤事故の発生は比較的少ない方です。しかし、事故発生件数は、全国値を香川県に当てはめてみると、52件程度が全国並みであり、既に11件程度多くなっています。

この事故を防止するひとつの手段として、会員の皆様から、就業中や就業途上に直接事故を体験された事例を提供していただき、冊子として発行いたします。

事故事例は、平成27年4月1日から12月末日までの間に発生したシルバー保険対象の傷害事故及び損害賠償事故で、各センターにお願いして、事故当事者の会員から各センターを通じて連合会に提出されたものです。

事故をゼロにすることは、私たちの願いです。

重大事故の発生を未然に防ぐためには、日々の体験から一人ひとりが気付いたことを共有することが、事故防止への近道であり、そのためにも、事故体験事例集例をよく読んで事故を未然に防いでください。

最後に、貴重な体験をお寄せいただいた会員の皆様と、事例を取りまとめくださった各センターの担当者にお礼申し上げます。

平成28年2月

公益社団法人 香川県シルバー人材センター連合会

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考: 傷害程度 事故報告時点)					
1	就業中	剪定	飛来・落下	操作中のチェーンソーが自分の方に跳ね返り、刃で左頬を深さ1.5cm、長さ15cm、右肩にも浅く長さ5cm損傷した。 (全治20日)	高さ3m程度のカイツカイブキを伐採するため、枝を切り落とした後、幹の上から1/3程度のところを真横にチェーンソーを入れ、8割切断した。後は、手鋸(てのこ)で切断しようと思いい、チェーンソーの刃を抜こうとしたが、切り口に挟まったため、再度チェーンソーのスイッチを入れて、抜こうとした時、自分の方に跳ね返ってきた。	個人の庭	挟まったチェーンソーを安全に引き抜く行動がとれてなかった。	伐採の時、先端部分には、ロープを掛け安全な方向に落とす。切り口は、挟まれないように両方向に入れる。なるべく2人で作業する。年齢と共に慎重さを増していく必要があると痛感。	1
2			転落・墜落	三脚から転落した。その時、近くのブロックの角で、左太ももを切った。 (通院30日見込)	剪定作業をするため、三脚(9尺)に上がり作業しようとした所、三脚が傾き転落、三脚も倒れた。	個人庭	三脚が不安定であった。	三脚に上がる前に、安全かどうか確認して、さらに安定を確認して作業する。基本を忠実にして安全就業を行う。	1

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考:傷害程度事故報告時点)					
3	就業中	剪定	転落・墜落	剪定作業中の転落事故で、背中・右腕・尻打撲(通院1日)	脚立とブロック塀にまたがって剪定作業中、脚立上の足が滑り転落した。	発注者宅地内	作業場が狭く、ブロック塀にまたがり脚立に足をかけて作業していたが、足が滑りバランスを崩して転落した。足場板を設置し、ロープで固定するなど安全対策を怠ったことに問題があった。	足場板を設置し、ロープで固定するなど安全対策を取りたい。大丈夫だろうという油断が事故を招くことを痛感した。	1
4				直接木に登り作業中、4m程度の木から転落し、頭部を強打し、軽度のくも膜下出血(入院7日、通院30日見込)	マキの木剪定作業中、足を踏み外し転落した。	個人宅の平坦な庭、三脚から木に登り作業中	靴は、地下足袋であったが、気のゆるみと油断していた。安全帯は使用していなかった。	いつも作業している所なので、油断して足踏み外した。安全帯を着用していたら良かった。	1

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考:傷害程度 事故報告時点)					
5		剪定	転落・墜落	脚立から転落	屋根の上に落ちた剪定クズを収集後、屋根から脚立に移動する時に足を滑らせた。	屋根の上から脚立への移動時	日頃慣れている動作であり、大丈夫だろうと思った。踏み台の高さや安定を十分確認しなかった。万一に備えて、つかまる所を確認しなかった。	無理な姿勢では作業しない。高い所での作業は、いつも以上に気を付ける。体力が衰えバランス感覚が鈍くなってきている。	1
6	就業中	屋外作業	激突	シャッターで頭部を打ち、切傷を負った。出血し、病院で7針縫った。 (全治1週間)	休憩場所に行く際、集中豪雨のため、いつもとは違うルートを通っていた時。	育苗センターで冷蔵庫のシャッターの下をくぐる時に頭をぶつけた。	頭上に気を付けず、シャッターの下をくぐったため。また、集中豪雨のため、濡れないようにいつもと違うルートを通って、休憩場所に行ったが、それがシャッターの下をくぐらなければいけない歩きにくいルートだったため。	作業中は、頭上に注意して作業する。出来るだけ障害物の少ない、通りやすいルートを通る。	1

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考: 傷害程度 事故報告時点)					
7	就業中	屋内作業	切れ・こすれ	調理中、ネギを刻んでいて、左人差指第1関節横の皮を直径8mm程度そぎ落とす。 (通院3日程度)	調理中、ネギを刻んでいて。	調理場の調理台の上	包丁の切味の悪さ	調理用具の点検。体調の変化があったように思われる。	1
8				左の人差指を突いて、内出血あり。 (通院24日)	袋を広げる作業中、袋が流れて下に落ちかけたため、あわてて袋を止めようとして手を突いた。	工場内	周りに気を付ける。	周りに十分気をつけて仕事をしなければいけないと思いました。	1
9			動作の反動・無理な動作	牛舎で牛の寝床替え作業中、右足でスコップを押し込んだ際に、スコップごと滑り右足が伸びた状態となり、バランスを崩して、右肩を捻った。 (通院11日)	牛の寝床替え作業中	牛舎で寝床は擦りヌカを敷き詰めていた。寝床は、3~4日の頻度で替えていた。	汚物で寝床が濡れている状態であり、慎重さに若干欠けていたかもしれない。	寝床替えは無理な体勢ではない。全体の汚れ具合を確認してから作業に配意する。発注者に仕事上、迷惑をかけた。	1

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考: 傷害程度 事故報告時点)					
10		屋内作業	転倒	ごみ袋を搬送中、屋外にある水道ホースにつまづいて、転倒。顔(口、頬)及び右ひじを強打、骨折して、通院した。 (通院全治1ヶ月)	ごみ袋をかかえて搬送中。	倉庫の横から一段下がったアスファルトの駐車場	ごみ袋をかかえていたのと、あまり下を気にしていなかった。	物を運ぶ時、周囲の状況や前方に気を付けること。もっと周りに気を付けたい。	1
11	就業中			転倒のため、右足の関節外側(副靭帯)を損傷。歩くために力を入れると、ものすごく痛く力が入らないように、片方の足を引きずって歩かないといけないう状態。補装具をつけるよう指示され、装着しています。 (通院2日、全治1週間程度)	1階の事務所の前を歩いていて、滑り転んだ。	1階のフロアー	フロアーが水で濡れていて、滑りました。	水で濡れていないか、よく見て歩くようにしています。仕事上、履物を脱いだり履いたりすることが多いので、スリッパを履いていましたが、今後、補装具を着けなくてよくなったら、スニーカーを履くようにします。	1

整理番号	傷害事故又は賠償事故	仕事種別	どんな事故		なにを、どうしていた時	どんなところで(場所、現場の環境)	事故要因と、どこに問題があったか	この体験で、反省・改善・気を付けるようになったこと、その他、感じたこと	この事故は何回目
			事故の型	傷害の部位、又は損害の程度 (参考:傷害程度事故報告時点)					
12	就業中	施設管理	転倒	転倒 左膝皿にヒビ (通院1週間)	駐輪場内を移動中、ポールを飛び越えようとした時、ポールに足が引っかかり転倒した。	JR駅駐輪場	日頃慣れている動作であり、大丈夫だろうと思った。万一に備えて、つかまる所を確認しなかった。	夜間の作業については、特に安全に注意して行う。何気ない動作でも、体力を考えて安全第一で行う。年齢が高くなるにつれて、体力が衰えていると感じた。	1
13		手刈除草等	切れ・こすれ	草刈作業中、左手人差指切創	軒先まで延びたカズラのような草木を、ナタ鎌で刈ろうと、左手でつかみ右手で切り落としたが、弾力性のある枝のため、鎌がはねて左手切創した。	個人宅	鎌による作業の経験不足、皮手袋の未着用	鎌作業の経験が浅く予期せぬ事態となり反省しています。次回からは、注意して事故をしないよう、また皮手袋等の防具を着用します。	1
14	就業途上	施設管理	転倒	左手首の甲にヒビが入った。 (全治4週間)	仕事から帰る途中	アスファルトの道路で舗装の継ぎ目の少しの「くぼみ」に、つまずいた。	夜の道路を街灯の明かりが不十分なところを早足で歩いた。	夜の道路を歩く時は、歩幅を広く、「かかと」からつけて歩くとつまずきにくいと教わりました。以後、気を付けるようになりました。	1